あなたの「やってみたい」を応援します!!

ゆめこらぼ通信

第 27 号発行
平成25年10月1日
（隔月発行）

発行：西東京市市民協働推進センター　ゆめこらぼ　〒188-0012　東京都西東京市南町 5-6-18 イングビル 1 階

第 5 回 NPO 市民フェスティバル

参加団体・ボランティア募集！

日時：12 月 7 日(土)10：00～16：00
場所：講演会場　きらっと(会議室)
　　展示会場　きらっと(多目的ホール)

第 5 回 NPO 市民フェスティバルを 12 月 7 日に開催します。今回のテーマは、「地元でつなぐ支えあい～あなたの生きがい・私のやりがい～」です。

▲　前回の様子

実行委員長は前回に引き続き佐藤文俊氏（NPO 法人子どもアミーゴ西東京）、副委員長は高橋二朗氏（多文化共生センター）に決まり、新たに 3 名の実行委員が加わって 7 名で実行委員会がスタートしました。

今回から田無公民館が正式参加、ゆめこらぼとのコラボレーションが実現することになりました。

また、定年前後の方々の地域デビュー、社会参加のきっかけ作りを目指す「西東京お父さんお帰りなさいパーティ（以下、西東京おとぱ）」も同時開催します。実行委員会にも西東京おとぱから 3 名がオブザーバーで参加しています。

これらを契機に、公民館での講座の卒業生や定年を迎えた方々が NPO や市民活動に目を向けていただけるような NPO 市民フェスティバルになることを目指します。

シニア世代にライフスタイルの提案や情報提供などのコンサルティングに長く携わり、シニア世代の社会参加、能力の活用を実現する活動を行っている、松本すみ子氏（NPO 法人シニアわーくす Ryoma21 理事長）をお迎えし、講演「地元にいかす市民力」を予定しています。

また、元シニア SOHO 普及サロン三鷹代表理事の堀池喜一郎氏による講演「シニアは地域で志事～やりがいで輝く～」を主催・田無公民館、協力・西東京おとぱで開催。講演終了後、西東京おとぱ参加者は、グループに分かれて参加団体の展示ブースを約 1 時間かけて回るツアーに出かけ、各団体の説明を聞いて回ります。西東京おとぱでは 50　名の参加者を募集予定で、参加者には各団体の紹介冊子を配布します。NPO 市民フェスティバル終了後には、西東京おとぱ参加者と NPO・市民活動団体との交流会も検討しています。

きらっと 2 階の講演会場(会議室)では 11 時からと 13 時 35 分からの 2 講演が予定されています。

また、展示会場（多目的ホール）は約 50 の参加団体を活動分野ごとに配置し、移動式展示壁等を利用して活動紹介ができるようにします。

現在、NPO 市民フェスティバルの参加団体や当日の会場でのボランティアを募集中です。参加希望の団体は下記の事前説明会に出席をお願いします。

～ 参加活動団体　事前説明会 ～

日時：11 月 8 日(金)18：30～20：00
場所：イングビル 3 階会議室
申込：11 月 4 日(月)までに 4 ページのイベント申込み方法にて、お申込みください

～ 当日プログラム（予定）～

講演会場　きらっと（会議室）	展示会場　きらっと（多目的ホール）
10:00　開会	
11:00～12:00　講演：松本すみ子氏	終日ブース展示
13:35～14:15　講演：堀池喜一郎氏	
14:30～15:40　おとぱツアー※	
15:40　音楽演奏※	
16:00　閉会	

※企画：西東京おとぱ

NPO 会計講座　実務編 および NPO 法人のための会計専門相談会

7 月 25 日(木)に、税理士の岡田純氏をお迎えして、NPO のための支援事業の一環で NPO 法人の経理スタッフを主な対象として経理実務の入門的な講座「NPO 会計講座実務編」を開催しました。

講座は NPO 法人の会計報告の意味から始まり、具体的な作業方法や重要なポイントなど、わかり易く丁寧な説明で進められ、参加者 10 人全員が真剣に聞き入っていました。

時間ぎりぎりまで活発な質疑応答もあり、次回の講座を期待する声もありました。また、参加者のほとんどが有意義で役立ったと感想を寄せられました。

講座の後、引き続き岡田純氏による会計専門相談会を開催しました。市民活動団体や NPO 法人の会計や税務について、丁寧に個別相談に応じていただきました。

まちづくり円卓会議

7 月 29 日（月）、イングビル会議室で今年度第 1 回のまちづくり円卓会議（※下記参照）を開催しました。

今年度は、昨年度の話し合いをもとに、「障がいのある人もない人も分けない居場所づくり」をテーマに、その実現に向けての取り組みを具体的にしていくことを目指して協議を進めます。

今回は、これまでの流れを共有した後、それぞれの強みを紹介することから始め、「まず取り組めそうなこと」のアイディア出しを行いました。出来そうな火種、関係者にもたらすメリット、ネックになりそうなことなども出し合って、居場所づくりのイメージが大きく広がりました。実現可能性が高くかつ早期に行いたいアイディアも多く出されました。今後は、これらの議論をどのように深め、どう発展させていくかが課題です。（次回の予定は、4 ページに紹介しています。）

※多様化する地域課題を、様々な立場の関係者が対話と協働で解決を目指すための会議

ゆめサロン

生涯教育とまちづくり ～東京雑学大学の 18 年～

8 月 3 日(土)ゆめこらぼサロンコーナーで 17 名が参加して、今年度 2 回目のゆめサロンを開催しました。

今回は、東京雑学大学の理事長・菅原珠子氏と理事の淺田恭彦氏にお話しいただきました。市民が自由に参加できる市民手作りの生涯学習の機会を提供することを目的に、毎週 1 回、18 年もの長期間にわたって 1 度の休講もなく活動を続けているとのこと。吉祥寺村立雑学大学をヒントに平成 7 年に発足する際に、新聞社に取り上げてもらえるように努めた結果、反響が大きく月 1 回の予定を毎週の開催に変更することになったとのことでした。

年 3 回の「学報」の発行、開学記念などの特別行事、年 1～2 回の見学会や小旅行の実施、年 2 回の交流懇親会など、活動も広がっています。

場所の関係で日曜日の開催が難しくなって参加者が減ったとのことでしたが、1 年先までスケジュールを決め、学報、ハガキ、ホームページ、チラシ、メールで参加を呼び掛けて毎回大勢の参加者を集めているとのお話しには頭が下がりました。

▼ 白熱する「まちづくり円卓会議」

◆◆登録団体活動紹介◆◆

NPO 法人子どもアミーゴ西東京

「福島県の子どもたちに笑顔を！」

東日本大震災以来続く被災地支援活動の第 8 弾として、8 月 2 日(金)から 1 泊でいわき市四倉（よつくら）児童クラブの児童 43 名と職員 4 名を西東京市に招待しました。

当団体で運営を行っているひばりが丘児童センターで、地元の子ども達と一緒に目いっぱい体を使って遊び、多摩六都科学館では、同館の協力で、プラネタリウムでいわきの星空を投影する特別プログラムを鑑賞、西東京在住の俳優で朗読家の山﨑巌氏による詩の朗読を聴きました。最後に「国際ソロプチミスト東京　西」から西東京銘菓が寄贈されました。社会福祉協議会の協力で福島から市内に避難しているご家族も招待されました。

夜は学校法人自由学園の協力で、20 張のテントでのキャンプ体験をしました。設営、夕食作りには中原小の父親の会のメンバー中心の地域ボランティアが全面的に協力してくれました。翌日は、午前中から児童センターで遊び、中学生ボランティア手作りの肉じゃがの昼食の後、いわきに向かって出発しました。

（子どもアミーゴ西東京理事　佐藤文俊氏記）

西東京自然を見つめる会

夏休み親子自然観察会

～虫を見よう　描いてみよう～

夏休みも残り少なくなった8月21日に東大農場(通称)に元気いっぱいの子どもたち 11 人が集まりました。昆虫研究家の中西章氏の説明を伺った後、虫取り網を手に一斉に昆虫採集に出発しました。

参加した子どもたちは東大農場の豊かな自然の中で昆虫を夢中になって追いかけ、2 時間足らずの間に見つけた昆虫の数は 43 種類にもなりました。子どもたちは中西氏の楽しいお話を聞きながら採集した昆虫をスケッチして、この日の自然観察会を終えました。子どもたちの絵は、９月１日(日)から７日(土)まで田無公民館で展示されました。

ひまわりプロジェクト

平成 21 年度に発足したひまわりプロジェクトで毎年恒例となっている「ひまわり迷路」が 8 月 14 日(水)～30 日(金)まで東大農場（通称）で開催されました。今年の来場者数は 4844 人とのこと。

今年は難しい迷路だったようで「○○ちゃ～んどこにいるの～」と迷子？のお母さんの声も聞こえてきました。一方、ゴールでは「やった！」という子どもたちの歓声と満面の笑顔!!。

ひまわり迷路畑は子どもから大人まで市民には欠かせない夏の風物になったようです。

ワーカーズコレクティブ　ちろりん村

子ども料理教室(フレーズシェフ)

この教室は平成 19 年より 3～9 歳を対象に、毎月開催。子どもたちだけで季節の献立を仕上げます。9 月 8 日(日)には「里芋ご飯」「ナスのけんちん煮」「えび真薯汁」「月見団子」を作りました。

食をとおして日本の文化や伝統が自然に伝わっていきます。料理が終わると親と一緒に試食し、片づけまでします。

継続して参加することで次第に包丁さばきも安定し、小さい子のお世話までできるようになります。帰る時は自信に満ちた笑顔が輝いています。

ちろりん村では、料理体験の他に親子講座などを毎月開催しています。詳しくは HP をご覧ください。

http://NPOchirorinmura.jimdo.com

（ちろりん村代表　吉田朋子氏記）

◆◆これからのイベント情報！◆◆

NPO のための労務講座

「雇う人、働く人の基礎知識　労務入門」

トラブルになる前に知っておきたいこと

◆日時：10 月 12 日(土)14:00～16:30

◆場所：イングビル 3 階　第 3, 4 会議室

◆定員：　先着 20 名まで。◆参加費：無料

まちづくり円卓会議

「障がいのある人もない人も分けない居場所づくり」

◆日時：11 月 21 日(木)13:30～16:30

◆場所：防災センター6 階　講座室 2

◆定員：傍聴者先着 50 名まで。◆参加費：無料

ゆめサロン

「著名文学者の死を通して現代の自殺問題を考える」

◆日時：11 月 16 日(土)14：00～15：30

◆場所：ゆめこらぼサロンコーナー(イングビル 1F)

◆定員：先着 20 名まで。◆参加費：無料

地域連携促進事業

避難所運営ゲーム共催実施

◆日時：10 月 20 日(日)13：00～16：00

◆場所：保谷小学校体育館

◆定員：100 名　　◆参加費：無料

※他の避難所運営ゲーム実施はＨＰをご覧ください。

新たな登録団体　＜2013 年 8 月末現在＞

◆NPO 法人　心

目的：成年後見制度を活用して、あなたの生活を支え、守る後見活動をミッションとしています。

◆西東京市けん玉協会

目的：けん玉発祥の地、田無を中心にけん玉大会等の啓発活動を行い、まちづくりに寄与する。

＜8 月末現在 111 団体になりました＞

（4 団体が登録を更新しませんでした）

イベント申込み方法

電話・ファックス・Ｅメールで、

住所・氏名・団体名(所属団体がある場合)・連絡先(電話・ファックス・Ｅメール)

を明記のうえゆめこらぼまでお申し込みください。

みんなの本棚

日本の教育格差

橋木　俊詔　著

岩波新書

本書は、教育に関する格差の実態や要因、それがもたらす問題を検証する本です。

現に教育を受けている子どもやその親、あるいは直接、教育に携わっている教師や教育関係者のみならず、日本社会全体が関心を持っているテーマです。著者は経済学を専攻している関係から、主に教育と経済の関連を考える際に参考になります。

教育の格差は結果的に貧困を生じさせますが、あえて貧困率が高くなった要因を経済学的な見地から３項目において分析しています。

1. 日本経済が1990年代から長期の不況期に入ったことがあげられる。そのため失業者が増大し、賃金が上昇しなかった。
2. 企業は生き残りをかけて、労働費用の削減に走り、パート労働者や派遣労働者のような非正規労働者を増加させた。
3. 財政難の影響を受けた、年金、医療、介護といった社会保障制度改革が、低所得者層に大きな打撃を与える結果をもたらした。

このような貧困を生じさせないためには「教育格差」を是正する必要があり、重要な対策として、国の教育費をより多く投入することが根幹になると思われます。教員数増と同時に小中学校の生徒数を少人数のきめ細かい学習を行えば学力が向上し、学校外教育の塾の過度な負担がなくなり、家庭の教育費が軽減されるのではないでしょうか。さらに、教育の機会均等を重んじ、国が助成する奨学金制度を充実させるなど、所得格差が教育格差にならないように取組んで欲しいと思った次第です。

（ひばりが丘北在住　小林力氏）

西東京市　市民協働推進センター　ゆめこらぼ
〒188-0012 西東京市南町5-6-18 イングビル1階
Tel:042-497-6950　Fax:042-497-6951
E-mail:yumecollabo@ktd.biglobe.ne.jp
http://www.yumecollabo.jp/
ゆめこらぼ
モバイルページ
開館時間　午前10時～午後9時
休館日　毎週火曜日（祝日の場合は開館し次の平日が休館日）